

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：平成30年 11月 16日

ふれんず甲子園

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○ スペースを広げることは現状では無理なので、物の置き場や活動内容で工夫し、子供たちが楽しく遊べるようにしています。	はい 22名 どちらともいえない 11名 わからない 2名	狭いが、お出かけやトランポリンで工夫されている→指定基準はクリアしていますが、引き続き、活動内容などの工夫でスペースが取れるように支援していきます。
	2 職員の適切な配置	○ 適切な人員、人数を配置できています。	はい 28名 どちらともいえない 4名 わからない 3名	今後も研修などを通してスタッフがレベルアップできるように努めます
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	○ 事業所内での視覚化など障害の特性に合わせた環境になるように工夫しています。	はい 22名 どちらともいえない 3名 いいえ 1名 わからない9名	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○ 定期的な遊具の消毒など行っています。	はい 27名 どちらともいえない 3名 わからない 5名	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○ スタッフ会議で行っています。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	○ 前年度の第三者評価による改善を行っています。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○ ジェントルライフとして毎月研修を行っているほか、未来センターでの研修などにも参加しています		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○ 毎週アセスメントをする時間を確保しています。	はい 33名 どちらともいえない 1名 わからない 1名	
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○ 個別課題を設けるなど集団活動とは別に目標を設定しています。		
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○ 個々の子供たちに必要な項目を設定し、具体的な支援ができるようにしています。	はい 33名 どちらともいえない 1名 わからない 1名	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 t (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○ トランポリンの活動をメインとした支援計画を立て、社会性が身につくような支援を実施しています。	はい 32名 どちらともいえない 2名 わからない 1名	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	○ スタッフの意見を取り入れプログラムを立案しています。		
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○ 長期のお休みの時は特にいろいろなプログラムを設定しています。	はい 32名 わからない 3名	
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	○ トランポリンを含めいろいろなプログラムを考え実施しています。		
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○ 就業前に打ち合わせを行っています。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○ 毎日必ず終礼にて行っています。		
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○ 終礼にて支援の検証など行っています。		
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○ 半年に一度の計画の見直しのため面談を実施しています。			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	○ 児童発達支援管理責任者が出席しております。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療的ケアの必要な方の利用はありません	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	医療的ケアの必要な方の利用はありません	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間で の支援内容等の十分な情報共有	○ 支援会議などで共有しております。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	卒業児はまだいません	卒業児はまだいませんが、今後情報提供などしっかり行っていきます
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○ 未来センターや、他の機関の研修に参加しています。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	○ 児童館や公園を利用することで、そこを利用している子供たちと一緒に遊ぶなどの活動をしています。	はい 16名 どちらともいえない 6名 いいえ 2名 わからない 11名
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	閉鎖的にならず近隣の方ともお付き合いするように心がけています。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○ 契約時や面談時に説明しております	はい 33名 どちらともいえない 2名	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○ 評価も含め面談を行い説明を実施しています。	はい32名 どちらともいえない2名 わからない 1名	
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	△ 個別に対応している場合はありますが、集団で行えていません	はい 14名 どちらともいえない7名 いいえ9名 わからない 5名	今後ジェントルライフとして3事業所合同で行う予定をしています。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	○ 連絡帳だけでなく個別に電話対応など行っています。	はい 34名 どちらともいえない 1名	
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	○ ご相談いただいたことに対しては必ず、対応しています。また面談時などに、ご相談いただいた場合もスタッフ間で話し合っ て対応しています	はい30名 どちらともいえない 1名 いいえ1名 わからない1名	
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	○ 懇談会だけでなく、定期的にお茶会を開くなど、保護者同士が連携をとれるように支援しています。	はい 25名 どちらともいえない 4名 わからない 6名	
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	○ 苦情があった場合は迅速に対応しています。	はい 25名 どちらともいえない 4名 わからない 5名	
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	○ 子供たちの表情や状態を読み取り、気持ち聞き出す配慮をしています。また、保護者の方も送迎時に子供さんの様子をお伝えしたり、連絡帳によるお知らせをしたりしています	はい 25名 どちらともいえない 4名 わからない 9名	先生によって通じる先生とそうでない先生がいる→今後も全職員が保護者の方とうまく意思の疎通を図れるようにしていきます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	○ 毎月の行事予定のほか、フェイスブックに活動の様子を毎週載せています。	はい 29名 どちらともいえない 1名 わからない4名	
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	○ 適切に行っています。	はい29名 どちらともいえない 3名 わからない 3名	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	○ マニュアルを、策定し、災害時警報時の対応については、保護者にお知らせしていません。	はい 27名 どちらともいえない 4名 わからない 4名	感染症に関してはよくわかりません。 →ノロウィルスの処理など防災会議の際に職員間で研修しています。災害時の対応などは今後は、計画書にも記載していく予定です。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	○ 子どもと一緒に避難訓練を年1回、職員だけの訓練を年1回行っています。子供を交えての訓練の時は電話対応など保護者の方にもご協力していただいています。	はい 23名 どちらともいえない 4名 わからない 8名	今後も定期的に行って保護者の方にも周知できるようにしていきます
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	○ ジェントルライフで研修を行っています。		未来センターで行われる研修にも参加しております
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束の必要な子どもさんはおられません		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	○ 保護者との打ち合わせをしています。		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	○ ヒヤリハットの事例集を作成しております。また毎日の終礼で報告、共有するようにしています。		